

住宅型有料老人ホームにおける 適切な医療提供を考える

新たな地域医療構想、つまり 2040 年の医療（介護）提供体制を考えていく為には入院医療だけでなく、外来医療、在宅医療も考慮する必要がある。その中でも高齢者施設で行われる医療提供はカテゴリーの多さ、制度の複雑さ、運営主体の多様さもあり実態の把握が難しい。

今回の研修会では、近年激増している住宅型有料老人ホームやホスピス型住宅にスポットをあてる。訪問看護の不正請求や、患者の囲い込みなどが社会問題化している一方で、我々医療従事者の認識不足や、医療制度上の諸条件が戸数拡大に少なからず影響を与えているのも事実であろう。

まずは住宅型有料老人ホームの何が問題と考えられ、どのような利用者が生活することが望ましい施設なのかを理解することが、これからますます必要とされる医療介護連携の進展に寄与すると考える。医師だけでなく、看護師や MSW にも参加を呼び掛け、それぞれの立場から自由闊達な意見交換がなされることを期待する。

○プログラム

1 「病院と住宅が同じでいいの？」

神奈川県医師会理事 小松 幹一郎 先生

2 「心を失った訪問診療・訪問看護とは？」

神奈川県医師会理事 磯崎 哲男 先生

○日時・申込方法

- ・ 日 時 2026 年 3 月 24 日(火) 19:00-20:30
- ・ 開催方法 w e b (zoom ウェビナー) 配信
- ・ 参 加 者 県内医療関係者、介護関係者、行政関係者
- ・ 申込方法 下記 URL から、お申込ください。

<https://forms.gle/oHg5Zk4bworfd5AP9>



※申込みフォームからの申込入力難しい場合は、

メール (g-iwata@kanagawa.med.or.jp) または FAX (045-242-9148) にて、お申込みください。

(5点明記お願いします) ①3/24 第 3 回地域医療構想普及促進研修会申し込み、②職種、③ご氏名、
④ご所属機関名、⑤連絡先電話番号

問合せ先 神奈川県医師会地域医療課 担当：岩田 tel：045-241-7000

共催 公益社団法人神奈川県医師会/神奈川県保健医療部医療企画課